

# インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）チュウオウダイガク	フリガナ）ショウガクブ	フリガナ）ミウラ トシヒコゼミナール
中央大学	商学部	三浦 俊彦ゼミナール

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）インキヤノメザメ	フリガナ）アライ トモユキ	7人	無
インキヤのめざめ	新井 智之		

研究テーマ（発表タイトル）
農業から始める地方創生

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要（目的・狙いなど）

現在日本では地方衰退が問題となっており、日本の人口減少が叫ばれている中で地方ではさらに都市部へ移る若者が増え労働人口が大きく減少傾向です。私たちは地方に人を呼び込み地方創生につなげていきたいと考えました。そこで今回私たちが考えたことは訪日外国人に向けた農業体験プロジェクトです。さらに、農家側と訪日外国人との間に生じる言葉の壁などの問題を解決するために学生を起用します。このプロジェクトはただ農業体験をしてもらうだけでなく、農家の方の家に泊ってもらい、とれたての作物を使った日本料理を味わってもらいます。訪日外国人にとっては今までにない日本の魅力を味わえ、農家にとっては自分達の商品を海外の人々に宣伝でき、学生にとっては留学とはまた違った国際交流が経験でき、三者にとって WIN-WIN な関係を狙いとしています。

## 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

私たちは2020年東京オリンピック開催が決まり、近年訪日外国人は年々増加傾向であること、訪日外国人の旅行目的の上位に日本食を食べること、日本の歴史、文化、自然体験をしたいという項目があることから訪日外国人をターゲットとし、農業体験プロジェクトをテーマとしました。

訪日外国人は平均8日間日本で観光しており、ゴールデンルートと呼ばれる人気観光ルートが存在しています。今回私たちが農業体験の場として岐阜県をえらびました。選定理由としてまず、ゴールデンルート上に位置する点、訪日外国人観光客を積極的に呼び込んでいる点などから選定しました。

## 3. 研究テーマの課題

まず農業体験を行うにあたり、どのような計画で実行するか、宿泊は行うのかのかまた宿泊を行う場合は、どこで行うのかが一番の課題となっており、具体的な実施場所を決めることが必要でした。

また農家側と訪日外国人との言葉の壁などの問題点をどう解決するかが課題です。

#### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

旅行型農業体験プロジェクトということで日本に旅行できた外国人にその旅の一環として1泊2日の民宿農業体験をしてもらいます。私たちは訪日外国人のゴールデンルートを考慮し、まずは岐阜を中心にプロジェクトを行います。

訪日外国人は地方の農家に行き農業体験を行うことで自分たちが収穫した野菜を使った日本料理を楽しんでいただきます。また農泊中には学生との交流や日本の古民家の魅力を味わうことができます。その際一緒に学生も参加してもらうことで言葉の壁や農家側の負担を減らすことができ、さらに学生側においても新しい外国人との交流の場として活用してもらえます。このように、農家、訪日外国人、学生ともにメリットがあるこのプロジェクトを通じて、地方創生につなげていきたいと考えています。

#### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

農家側の意見を取り入れるためにJA東京南にヒアリング調査を行い、問題点の抽出、外部からの客観的評価を頂きました。実際に岐阜農家に対してもヒアリング調査を行い、自分達の提案に対する農家側のメリット、デメリットをお聞きし、この提案の実現可能性などを高められました。

また学生にアンケート調査を行い、学生側からも国際交流に興味がある、このプロジェクトに参加してみたいという回答を多数得られ、かなりの需要が見込めることが検証できました。

#### 6. 結果や今後の取り組み

訪日外国人の観光コースの定番であるゴールデンルート上の岐阜県から行き、最初は小さな規模から始め、主に訪日外国人の口コミなどによる宣伝によって少しずつ規模を大きくしていくことを考えています。最終的に全国的なプロジェクトとなり、訪日外国人にとって、「旅行のついでに農業体験」を「農業体験のついでに旅行へ」を目指します。その結果、地方に多くの観光客が訪れるようになり、農家はもちろん、それ以外の地方の経済発展にもつながり、地方の活性化につながると考えています。

#### 7. 参考文献

- ・ 「日本政府観光局（JNTO）」  
[http://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/data\\_info\\_listing/pdf/fotufe0000009gpp-att/160615monthly.pdf.pdf](http://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/data_info_listing/pdf/fotufe0000009gpp-att/160615monthly.pdf.pdf)
- ・ 国土交通省観光庁
- ・ 「TripAdvisor Gallery」  
<https://www.tripadvisor.jp/>
- ・ 「YAHOO! JAPAN プロモーション広告」
- ・ 「LONLEY PLANET」  
<https://www.lonelyplanet.com/>
- ・ 「民宿甚左衛門」  
<http://www.jinzaemon.com/greentourism/taiken.htm>
- ・ 「岐阜県公式ホームページ」  
[https://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/toshi-noson/c11427/grintu/index\\_10581.html](https://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/toshi-noson/c11427/grintu/index_10581.html)
- ・ 「読売新聞」<http://www.yomiuri.co.jp/>
- ・ 「日本経済新聞」<http://www.nikkei.com/>
- ・ 「JR 東海 Central Japan Railway Company」  
<https://jr-central.co.jp/>

## インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。